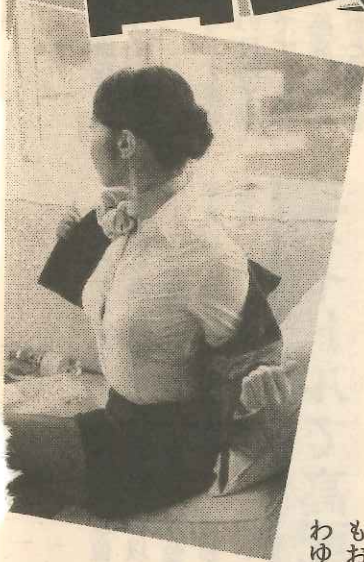


出会い系クラブに 潜入!!



「では、乾杯！」
ワイングラスをかかけると、石田ひとみさん(28歳、仮名)は上品に微笑んだ。
東京・汐留の高級ホテル『コンラッド東京』。28階にあるレストランで本誌記者は、奥菜恵似の美女とディナーを堪能していた。

シャンパンで濡れたポテッと厚めの唇に、ほんのり桜色に染まった頬。黒目がちな瞳はつやつやと潤んでいる。88cm Fカップのバストで、深紅のワンピースははちきれんばかりだ。
ひとみさんは羽田空港でグランドホステスの仕事をしている。今夜は、彼女の終業を待って、このレストランに入ったのだ。ふたりで会うのは2回目。そろそろ「オトナのお付き合い」

がしたいところだ。
なぜ、記者はこんなハイソな場所で、最高の美女と密会しているのか。顔が悪く、口ベタ・ケチの3K男

3500人から好きに選べる

その機関の名は「銀座ワンアンドオンリー倶楽部」。男性会員の希望に添う女性を紹介する、交際クラブと称する組織だ。交際クラブの目的は女性との出会い。まずは、いくらかの入会金を払ってクラブの会員になる。好みのタイプを告げれば、クラブに登録している女性のなかから厳選したコを紹介してくれる。女性と話がまとまれば紹介料をクラブに支払って、その後は「自由恋愛が始まる。月々のお手当てを所望する女性

もおり、条件があれば、いわゆる「オトナの付き合い」に移行するというわけだ。
「出会い系クラブのなかでも超高級の部類に入るのが、この『銀座ワンアンド

といわれる本誌記者。自力で口説けるはずもなく、「出会い系クラブ」と称される、ある機関の助けを借りたのだ。

オンリー倶楽部」で、紹介料最低10万円から最高100万円という強気の価格設定には驚かされる。それもそのはず、在籍している女性数は約3500人。なんと、女優やモデル、キャビンアテンダント(スチュワーデス)、有名企業の重役秘書など、世の男性が憧れる「高嶺の花」の女性を紹介してくれるのだ。

冒頭のひとみさんは、エッチのうまい中年と若干のおこづかいを期待してクラブに登録したという。おこづかいなど払う余裕のない記者は、取材に名を借りて逢瀬を楽しんでいるのだ。

記者の好みは目鼻立ちのキリッとしたタイプで、巨乳は必須。それに下ネタを受け入れてくれるエッチなコ。その旨を伝えると、ク

ラブは事務所で写真付きのプロフィールを教杖見せてくれた。そのなかでもっとも美人だった、ひとみさんを記者は指名したので。

ひとみさんは下ネタに動じず、記者のどんな質問にも丁寧に答えてくれた。彼女は最近、男と別れたばかりなのだが、その男が妙な趣味を持っていたという。「相手は45歳のバツイチだったので、彼は私の裸を撮るのが大好きでした。高級な黒のレースの下着をつけて写真を撮るのが彼の好みで、私も当時はずっと黒のTバックをはいていました。撮影が進むと、私も感じてだんだん濡れちゃって……」

うらむ、このB88(Fカップ)W60H88のナイスボディをカメラにおさめたいたとは、元カレがうらやましい。見たいっ! もとい、読者だって見たいはず。(4時間経過)

「……わかりました。ただし、顔は出せませんよ」
ついにFカップ美乳が拝めるのだ(次週カラーグラ

本当にあった! 銀座超高級

紹介料最低10万円!
モデルからグララントホステス、舞台女優まで、
憧れの美女と大人の付き合い



ピアをお楽しみ〜!
なんともいやらしい体。
どんなエッチが好きなのか。
「……バックが好きなんです。クリスマスの日には『ホテル日航東京』（東京・お台場）のペランダで手すりに両手をつけて、後ろから突いてもらったことがありました。船から人が見ているんじゃないかと想像して、さらに興奮したりして」
端正な顔に豊かな体、しかもヘンタイ! さすが人材豊富な高級クラブだ。
しかし、このクラブの實力はこんなものではない。次に記者が紹介してもらったのは、なんと、名門『劇団四季』に在籍する現役の舞台女優だ。
銀座の喫茶店で待ち合わせた水沢ゆみさん（25歳、仮名）は、女優・杉本彩似のエキゾチックな顔立ちに、鍛え上げられたボディの持ち主。身長も165cmとモデル並みの体型

▲「初めての撮影は緊張半分、コーフン半分でした」

▲ワイシャツがはちきれんばかりの巨乳
だ。幼少時からピアノを習っていた彼女は音楽大学に入学。ミュージカルにハマり、卒業後、劇団四季に入団した。
「入団2年目ですが、『ライオンキング』に出演したことがあります。夢は舞台女優として成功すること」と言う彼女にこのクラブに入会した理由を聞いた。
「友人のタレントが先に入会していたんですが、とてもキレイになったんです。聞くと、クラブのスタッフの人が化粧の仕方やスタイル維持の方法を教えてくださいと言います。それにおこづかいも欲しかったから」
記者は、話を聞きながらチラチラ見ているのだが、ゆみさんは脚も美しい。ふくらはぎは、太すぎず細すぎず、自然なカーブを描いていて、アキレス腱はキュッと締まっている。
「ありがとうございます。実は、自分の体では脚に自

井上和香似の 現役東大生も

信があるんです。それに、一番感じるところも脚なんです。特にヒザの裏を舐められると、もうダメ(笑)」
フェロモンむんむんの女性との濃厚性愛もいろいろ、ウブな女子大生と知的な会話を楽しみたいという向きに、クラブは、こんな方も用意している。
「趣味は美術鑑賞に読書。特技はフランス語です」
とのたまうのは現役女子大生の奥野絵理さん(21歳、仮名)。二重瞼の大きな瞳と、エッチそうな肉厚な唇が特徴だ。タレントの井上和香からフェロモンを少し抜いて顔つきをシャープにした感じである。なんと彼女は、あの東京大学の現役女子大生だというのだ。
「専攻は日本文学で、いまは樋口一葉を専門に勉強しています。ヨーロッパの文

学も昔から大好きで、エリクス・カネッティやジェイムズ・ジョイスなどは原書で読破しました。谷崎潤一郎の世界もひかれますね」
谷崎のどんなところが? 「小説『痴人の愛』のように若い女性が年上の男性から寵愛を受けるといふシチュエーションが好きなんです。だから、年上の方にアブノーマルなプレイをされた。目隠しや軽い緊縛くらいのソフトSMなら、お付き合いできると思います」
うらむ。教養・ルックス・エッチ度、どれも偏差値が高すぎる。
彼女のような完璧な女性には手が出せない……という方には、くだけた女性も多数いるので安心してほしい。なにせ、在籍女性は約3500人! 必ず好みのタイプがいるはずだ。
そのコにあげるおこづかいが足りるかどうかが問題なのだが……。